

授業科目

卒業研究

担当教員名 瀧口 徹、本間 久文 他	対象学年	4	対象学科	情報
	開講時期	後期	必修・選択	必修
	単位数	2	時間数	60

ディプロマポリシーとの関連性

知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
◎	◎	◎	◎	◎

授業の概要

保健医療福祉施設における経営管理・情報管理・事務管理等に関する具体的なテーマを設定し、文献検索や資料の収集をはじめとした一連の研究過程を通して、研究の基本的手法を学ぶ。研究計画にそって必要な情報や資料を収集、整理し、結果に基づいて卒業論文を完成させる。履修には単独方式と共同方式による卒業論文作成の2つがありいずれかを選択する。前者は個人が指導教員に相談して研究テーマを決定する。後者は予め学科が用意した複数（10前後）の研究テーマから1つ選択し、同一選択をした数人の学生と研究チームを組み、仮説を設定した上で公衆衛生、疫学、医療経済学（医療保険を含む）、医療統計等の手法を駆使して論文作成を行う。単独方式、共同研究方式のいずれも研究の基本となる論理の進め方の体験学習を主目標としているが、単独方式は倫理委員会や対外的な折衝の経験と学習、共同方式は将来の職場における研究、事業プロジェクトを想定しチームの一員として力を発揮できるための訓練も合わせてねらいとしている。

授業の目的

単独方式は選択したテーマの研究と論文化を通して研究のデザインと解析法の基礎を習得することを目的とする。一方、共同研究方式は、大学等の研究機関のみならず行政、病院、企業等で広く行われている検討チーム（プロジェクトチーム）の基本となる組織的統制、情報の共有化、役割分担等の基本を学びつつ選択したテーマについて論理的思考を蓄積して科学論文を完成させる。論理的思考とは根拠に基づかない推測（スペキュレーション）を行わず研究結果に基づく考察と先人が行った文献からの考察をベストミックスすることである。

学習目標

【学習目標】

1. 研究のやり方の要点を学ぶ
2. 論文や報告書の書き方の要点を学ぶ
3. 共同研究の利点を学ぶ
4. 関連研究(論文)・資料の収集法と評価法を学ぶ
5. 指導教員と双方向の情報交換を行う
6. 卒業前の資格試験獲得に繋げる
7. 時間を有効に使った卒論にする

【行動目標】

卒業研究マニュアルに記載してある「卒業研究学生心得7箇条」を行動目標：SBO1として意識し実行できる

授業計画

回数	授業計画・学習の主題	学習方法・学習課題・備考	担当教員
1-2	研究テーマの設定	卒業研究マニュアル参照	瀧口 徹 他
3-6	研究計画策定	卒業研究マニュアル参照	瀧口 徹 他
7-10	研究テーマに添った文献検索，資料・情報収集	卒業マニュアル添付の文献検索ガイド参照	瀧口 徹 他
11-23	解析	解析と中間発表準備	瀧口 徹 他
24-26	中間発表	ポスター発表形式配布資料+パワーポイント発表	瀧口 徹 他
27-29	論文完成	中間発表での指摘事項を反映	瀧口 徹 他
30	口頭試問（各自）		瀧口 徹 他

使用図書

使用図書	書名	著者名	発行所	発行年	価格	その他
教科書						
参考書						
その他の資料	医療情報管理学科 卒業研究マニュアル（該当年度版）学生用	瀧口徹、福島正巳、ほか16名 他	医療情報管理学科	2016年	0円	

評価方法

研究への取り組み姿勢、論文内容、発表内容を評価する。

評価の内訳

1. 卒業研究心得7箇条に関する評価
Σ(2,3,4)から10%程度加減
2. 中間発表の評価 25% 主任、副主任が行う
3. 提出論文の評価 25% 各指導教員が行う
4. 口頭試問の評価(学生個別) 50% 各指導教員が行う

履修上の留意点

1. 担当教員と連携しながら、7つの学習目標達成のため主体的に取り組むことを期待する。
2. 卒業研究学生心得7箇条を理解し実践できることを期待する。6月中に希望調査に基づき班編成(H26年は13班であった)
3. なお、アンケート調査等倫理委員会の承認を必要とするものは時間的に余裕をもって行う必要があり、後期授業開始前に指導教員名で申請する必要があるが、原則的倫理委員会承認を必要としない方法が望ましい。
4. また、単独研究方式の選択に当たっては予め指導教員および主任(副主任)の了解を必要とする。

オフィスアワー・連絡先

主任：瀧口徹 takiguchi@nuhw.ac.jp AM9:30-PM5:00 IA511

副主任：本間久文 honma@nuhw.ac.jp AM9:30-PM5:00 IA501

なお、例年6月の班編成後は一義的には各指導教員の連絡先を使用すること。